

い。その根本的な理由は、ウォルコットが古い逆円錐形の進化観に縛られていたためであった。グールドはその説明に多くの頁を費やし、パラダイムの転換にかかわる科学的な考察を加えている。一方でグールドは、表層的な理由についても、ウォルコットの書簡や日記に基づいて、興味深い判定を下している。彼が、行政的に多忙すぎたというのである。ウォルコットは、米国地質調査所に入所し、所長にまでのぼりつめた。その後スミソニアン研究所長を歴任し、さらにナショナル科学アカデミーと米国科学振興協会の会長も兼任した。彼は行政上の膨大で雑多な責務をこなしながらも、研究へ戻る願望も強く持っていた。実際、彼は地質調査所の予算面で最悪の時期を乗り切り、その再建をはたしながら、カンブリア紀の化石に関する多くの論文を公表し続けた。しかし、ついに、自らが発見し彼がもっとも研究したかったバージェス動物群のために、十分な時間をさくことができなかつた。そのために、彼は貴重な標本に対して、表面的な観察と先入観による既

知の分類群への押し込めという失敗を犯してしまった。科学における行政的な仕事の重要性は決して小さいものではない。しかし、その仕事に対する評価は、同時代においてだけのものである。いわんや、行政的な多忙が新しい発見を半世紀も遅らせてしまったとは、残念であるとはしか言いようがない。

本の厚さ(524ページ)に二の足を踏んでいたが、読み始めると、二晩で一氣に読み終わっていた。未知の生物と出会う感動を味わいたいすべての人と、行政的な雑用と研究願望の狭間に苦しむすべての研究者に、是非一読をおすすめしたい。

追記：本稿校正中に、NHKスペシャル「生命」第2集が、バージェス動物群をとりあげて放映した。バージェス動物たちがコンピューターグラフィクス(CG)によって泳ぎ出す影像是素晴らしいものであった。古生物学における、CGやX線CTなど最先端の手法の可能性を感じる。また今夏は東京都多摩で、バージェス動物群の博覧会が開かれる。

(地質調査所海洋地質部 茅根 創)

## 地質標本館「夏休みの2大イベント」

筑波研究学園都市の人気施設「地質標本館」では、夏休みにユニークな2つの特別企画(入場料・参加費は無料)が予定されているので、概要を紹介します。

**特別展示：生きている二酸化マンガングル床「オンネト一湯の滝」**(7月20日～8月31日)

地球は太古から様々な生物の関与で環境が変化し、その産物を人類が資源として利用しています。二酸化マンガンはその代表で、乾電池や鉄鋼等の重要な原料として近代文明を支えています。生成メカニズムはまだよく判っていませんでした。

今回は、最近発見された「世界でも珍しい、微生物の働きで成長中の二酸化マンガングル床」を紹介します。タイムマシンが無くても、過去の地球の進化の秘密を教えてください。「生きた化石のような存在」に出会えるのです。

阿寒国立公園の名所「オンネト一湯の滝(足寄町)」は温泉水が流れ落ちる珍しい滝で、秘境の温泉としても有名ですが学術調査の結果、「入浴を中止して至急保護すべき、世界的にも貴重な場所」であることが判明しました。平成4年の万国地質学会議で本現象が研究発表された後に、現地を訪れた世界のマンガングル床専門家達も珍しい現象に感嘆しています。

環境庁主催の研究會に地元関係者・関連機関・学識経験者らが参加して検討した結果、早期にミニビジターセンターや代替風呂を設置するとともに、できるだけ早く入浴を禁止して現場を保護し、将来は天然記念物指定に向けて努力することになりました。

この現象は、大昔の地球上の出来事が微生物の活躍で起こった可能性を教えてください。夏のひとときを、足寄町と阿寒国立公園の素晴らしい大自然が同時に紹介される地質標本館で、「地球と生命の進化」の不思議さに思いをめぐらせてみませんか？

**好評コーナー：夏休み地質相談(8月26日のみ実施)**

例年夏休みに催されている、たいへん人気の高い企画です。子供達が集めた岩石・鉱物・化石などの標本を持参すれば、地質調査所の専門家が同定をしたり相談ののってくれます。スタッフの負担は大きいのですが、子供達の輝く瞳が疲れを忘れさせるようです。

**連絡先：地質標本館 Tel. 0298-54-3750, 3751  
(15人以上の団体は予約が必要)**